

# 薬用植物園だより

2023年

3月

生薬では「杏仁」をキョウニンと呼びます！

アンズ(バラ科)

*Prunus armeniaca* Linné var. *ansu* Maximowicz

部位	種子(仁)
生薬名	杏仁(キョウニン) <b>局方収載</b>
成分	青酸配糖体のアミグダリン
薬理	鎮咳去痰作用、抗炎症作用、緩下作用
薬能	止咳平喘薬、潤腸薬
漢方	麻黄湯、麻杏甘石湯、潤腸湯など



中国北部原産の落葉小高木で花はウメ、モモの花を楽しんだ後の3月～4月ごろに咲き6月ごろに実が熟します。冷涼な甲信越や東北では果樹として生産されており、主に乾燥果実、ジャム、シロップ漬けなど食用として流通しています。薬用部位は、種子で漢方薬にも多く配合されています。また、咳止めのキョウニン水も有名です。この種子の独特の香りを楽しむことができる杏仁(あんじん)豆腐は薬膳とも言えます。食べて咳を抑えたり、痰を除いたり、さらには便秘を整えるにも役立ちそうです。

レンギョウ(モクセイ科)

レンギョウの珍しい果実を探してみよう！

*Forsythia suspensa* Vahl

部位	果実
生薬名	連翹(レンギョウ) <b>局方収載</b>
成分	リグナンのアルクチイン、トリテルペンなど
薬理	抗炎症作用、抗アレルギー作用、抗菌作用
薬能	清熱薬
漢方	荊芥連翹湯、柴胡清肝湯、防風通聖散など



中国原産の落葉低木で3月～4月に華やかに黄色い花を咲かせます。雌しべの短い株と長い株の2タイプがあり、両方の株がないと果実が付きにくいのです。一般的には挿し木、株分けで増やすことが多く、同属のシナレンギョウなども公園などに植栽されていますが、片方のタイプしか植栽されていないため、なかなか果実を見ることが出来ません。薬用部位は果実で、皮膚炎などに用いられる漢方薬によく配合されています。一度、薬膳で花のかき揚げを食したことがあります。皆さんも試されてみては如何でしょうか。



アンズ

レンギョウ



ホームページでも  
ご覧いただけます